

## 東 奥 日 報

2022年(令和4年)6月11日(土曜日) (25)

## 社会人に海洋学講義

## 八工大 9月から新プログラム

八戸工業大学は10日、社会人を対象とした履修証明プログラムとして、新たに「HIT（ヒット）海洋学プログラム」を9月から開講すると発表した。「海洋学の基礎と未来」「海洋生物学」「海洋生態学」の3科目を、2022～24年度に毎年1科目ずつ開講。同大教員のほか学外の研究者

らが講師を務め、海洋環境や海洋生物・生態などに関する基礎知識を市民に学んでもらうのが狙い。

履修証明プログラムは、社会人が学び直すリカレント教育や生涯学習の1環。同大では昨年度スタートした「土木工学基礎プログラム」に続き二つ目となる。

海洋学プログラムの講義は週1回（1・5時間）行い、1科目当たり15回を予定。「海洋学の基礎と未来」

は来年1月まで開講し、生物多様性・生態系機能、マコンブの発生、有孔虫に残る環境指標、ゼニガタアザラシの生態などをテーマに、同大工学科生命環境科学コースの田中義幸教授と、学外の専門家8人が講義を担当する。

海洋学プログラム3科目の修了者には、学校教育法に基づき履修証明書を交付する。受講料は1科目4万4千円。単位取得を希望する場合は「科目等履修生」の登録が必要となる。

同日、八戸市の番町サテライトキャンパス（通称はらんらぼ）で、星野保工学科長と共に記者会見した田中教授は「海との関わりが深い八戸で、海洋環境や生物に興味がある皆さんに幅広く学んでほしい」と語った。受講の応募は28日まで。問い合わせは同大（電話0178②8025）へ。

（千葉真由美）